

第1回安曇野市環境審議会 会議概要

1	会議名	第1回安曇野市環境審議会
2	日時	平成31年4月22日(月)午後2時00分から午後3時32分まで
3	会場	本庁舎 大会議室 西
4	出席者	環境審議会 浅川行雄 会長、植松晃岳 副会長、佐々木俊之 委員 樋口嘉一 委員、藤澤昇 委員、横田耕太郎 委員、口村孝 委員 二條久男 委員、酒井文雄 委員、北野聡 委員、岡江正 委員 江澤二郎 委員、降旗幸子 委員、飯沼千賀子 委員、井上和行 委員 小池晃 委員、堀井三郎 委員
5	市側出席者	安曇野市 市民生活部 宮澤部長 廃棄物対策課 鳥羽課長、廃棄物対策担当 二木課長補佐、関係長 環境課 深澤課長、環境保全担当 百瀬係長、環境政策係 藤森係長 土屋主査、高山主事
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	0名
8	会議概要作成年月日	令和元年5月9日

協 議 事 項 等

【進行表】

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 事務局紹介
4. 報告事項
 - (1) 平成31年度環境課及び廃棄物対策課の当初予算概要について
 - (2) 平成31年度安曇野市一般廃棄物処理実施計画について
5. 会議事項
 - (1) 住宅用太陽光発電効果検証アンケートについて
6. その他
7. 閉会

【議事】

報告事項(1) 平成31年度環境課及び廃棄物対策課の当初予算概要について

<環境課及び廃棄物対策課から説明>

<質疑>

(委員) 資料1、74ページの共済費の用途は何か。

(環境課) 職員共済にかかる費用になります。

(委員) 74ページ、地域猫の不妊・去勢手術への補助金について、地域猫の意味と費用の程度、また、犬への補助金がない理由を説明願いたい。

(環境課) 地域猫とはいわゆる野良猫のことです。地域猫の活動支援を行う団体に対し、不妊、去勢それぞれの手術について、16,200円、8,640円を上限として補助金を交付するもので、計20

匹分を予算計上しています。犬に関しては活動支援を行う団体が市内に存在しないため補助制度はありません。

(委員) 71ページの環境衛生総務費に市職員の給与等にかかる経費が計上されており、一見すると他の事業と比べ多額の予算を注ぎ込んでいるように見えわかりにくい。また、審議会で審議するのは、人件費を除く予算についてでよいか。

(委員) 74ページの可燃ごみ処理手数料(ごみ袋の証紙代)は、現状では清掃費のみに予算充当されている。市民にごみの分別をしてもらうためにはそれ相応の還元が必要という、環境活動交付金をつかった当時の趣旨を反映するならば、ごみ減量化再利用対策事業へ案分充当することを検討いただきたい。

(部長) 次年度予算については検討したい。

(会長) 74ページの不法投棄監視連絡員出席謝礼は、現場監視の対価か。また、監視員は何人いるのか。

(廃棄物対策課) お見込みのとおり。また、監視員の人数は市全体で10人です。

(委員) 73ページについて、各種環境調査を実施されているが、観測点の変更があったか。あったならば、どういう観点で変更したのか説明願いたい。

(環境課) H28から29にかけて整理、縮小した。H29から30にかけては調査箇所・項目ともに変更ない。H30と31の相違は、2年に一度行う長野道の騒音調査のみで、本年度が実施年となる。

(委員) 調査委託料が多いと感じますので、削減できるものは削減することも検討していただきたい。

報告事項(2) 平成31年度安曇野市一般廃棄物処理実施計画について

<廃棄物対策課廃棄物対策担当から説明>

<質疑>

(委員) 資料2の一般廃棄物処理実施計画は人のし尿に関するものだが、三郷の臭気問題解決のため、畜産のし尿を下水道で受け入れることは可能か。

(廃棄物対策課) 畜産由来のし尿は産業廃棄物となるため県の所管となり、市の計画には入りません。

(委員) 臭気問題は10年以上解決しておらず、業者も他者に責任転嫁していると感じる。この計画が人のものであることはわかるし、一事業者の収益のために行っている事業に対して税金を使うのは筋違いとも感じるが、問題解決のため下水道に接続することは可能なのか。

(環境課) 3月の畜産悪臭対策協議会で下水道への接続について平成31年度に方向性を見出すこととし、下水道敷設にあたり業者と打ち合わせするよう環境課で取り持ちをした。下水道を整備するかは業者の判断になるが、臭気軽減のため農林部とともに取り組んでいく。4月の協議会では何らかの計画を該当事業者から提出してもらえるところまで進めたいと考えている。

(会長) 次回の会議で経過を報告願いたい。

(委員) 住宅密集地に下水道未接続世帯があると、2か月に一度くらいかなりの悪臭が漂う。広報だけでなく、未接続世帯にダイレクトメールを送るなどして、下水道区域内の未接続家庭の早期解消をお願いしたい。

(委員) 資料2、1ページの不燃ごみの分類と排出予定量の変更内容を説明願いたい。また、売却できるものは、金物類・紙類・ペットボトル・缶類で、その他は処理費用がかかるという認識でよいか。資源物であってもプラスチック製容器包装は処理費用が必要なやっかいものであり、紙類も売却はできても収集運搬費用がかかるため、安易に増えたから良いということはないと思う。コストという視点も持ってほしい。

新ごみ処理施設はサーマルリサイクル施設であり、焼却もリサイクルという視点を持ってもらいたい。今後は焼却量が安定的にあった方がよい場合もあると思う。新ごみ処理施設の稼働に向け分別内容の抜本的な見直しをお願いしたい。また、ごみ袋の証紙代30円はクレームこそなかったが、当時担当していた者として適正な費用負担であるか疑問に思っていた。有料化して18年になるので、費用対効果などを検証してほしい。

(廃棄物対策課) 金物類の表記は昨年はありませんでした。金属くずは産廃になるという判断で除いたと聞いています。市民は金物類をリサイクルではなく不燃ごみとして出していますが、穂高広域施設組合に搬入後業者が買い取っている状況です。不燃ごみの排出予定量は、昨年の実績値から推測したのですが、総量が減った理由は、あくまで想像ですが、金物類が民間回収に流れたものと考えています。

ごみの処理手数料については、3月に実施したアンケートの結果を受け検討してまいります。新ごみ処理施設では、これまでより大きなサイズのごみを出せるようになり、利便性が増えますが、集積所のごみの増加なども考えられます。今年度中には構成市町村で分別などの新しいルールを定め、次年度には周知を進めます。

(委員) 補足で資料に記載のない数字の説明があったが、会議で検討するのであれば、そうしたバックデータも見える形にさせていただいた方が総合的な意見を言えると思う。

会議事項(1) 住宅用太陽光発電効果検証アンケートについて

<環境課環境政策係から説明>

<質疑>

(委員) 資料3のQ18については、今後導入したい省エネ設備に補助制度をつくってもらいたいかというところまで踏み込んだ内容にしてはどうか。

(環境課) ご意見を踏まえ検討します。

(委員) 環境フェアで地熱の紹介があったと思うが、そうした設備も記載してはどうか。

(環境課) 地中熱についても記載を検討します。

(委員) Q2について、屋根以外に設置している人もいると思うので、可能なら設置場所も把握してもらえればと思う。Q9の満足度は、住宅の性能によって変わると思うので、ペアガラスが入っているだとか、建築年などを把握できるアンケート内容にしてもらえればと思う。また、アンケートとは別に、県のソーラーマッピング事業についてアナウンスしてもらえればと思う。

(環境課) 設置場所、築年数の把握等について設問を工夫します。また、ソーラーマッピングは県のホームページ上で公開されていますので、PRに協力してまいります。

(委員) Q18のHEMSやコージェネレーションは一般には馴染みのない用語ですので、余白に説明を入れてはどうか。

(委員) Q18の蓄電池システムについては、専用の設備は高価であるため、中古の電気自動車でも一緒ですといった意味合いを付け加えていただければと思う。

(委員) Q12の省エネ意識については、太陽光パネルを設置するような方は、「3. のあまり変わらない」の回答になってしまいかねない。「従来から関心があった」といった選択肢があるとよい。

(環境課) 選択肢に加えます。

(会長) その他になるが、会議資料等は西暦併記を検討してもらえないか。

(部長) 国からの指示もあり、5月1日以降は基本的に令和元年表記で統一したい。

(午後3時32分 議事終了 閉会)

【今後の予定】

- ・ 7月10日(水) 午後2時から 平成31年度 第2回環境審議会